ご使用の際は必ずお読みください。

X-CAST CUTTER TAKUMI

X・キャストカッター匠

取扱説明書

製造販売届出番号：13B1X00306E10012

◆　はじめに　◆

このたびは、X・キャストカッター匠（以下｢本器｣という。）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下｢本書｣という。）は、本器をご使用いただくためのガイドブックです。本器を初めてお使いになる方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。本書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用くださいますようお願いいたします。また、常に本書を手元に置かれて作業されることをお勧めいたします。

本書は、次の❶～❼の章で構成されています。

❶ 使用目的と作動原理
❷ ご使用になる前に
❸ 各部の名称と機能
❹ 準備方法
❺ 操作方法
❻ 保守点検
❼ 資料

【 製品規格への適合 】
“電動式ギプスカッタ”を対象とした個別のＪＩＳ規格はありませんが、本器は下記のＪＩＳ規格
JIS T 0601-1：1999（医用電気機器-第１部：安全に関する一般的要求事項）
に適合しております。

【ＥＭＣ規格への適合 】

ＥＭＣ
適　合

本器（電動式ギプスカッタ）はＥＭＣ規格
JIS T 0601-1-2：2002（医用電気機器-第１部：安全に関する一般的要求事項ー第２節：副通則ー電磁両立性ー要求事項及び試験）
に適合しております。
CISPR11 による分類：グループ１　クラスＡ

◆　臨床上の取り扱いについて　◆

医療従事者は、本器の臨床上の取り扱いについて、副作用・危険性に関して文献などをご確認の上、ご使用ください。

◆　安全に関するご注意　◆

本器を安全にご使用いただくためには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。本書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで、ご使用ならびに保守作業を行わないでください。本書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、本器を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

本書では、各注意事項を、⚠ 警告や ⚠ 注意という見出しの下に掲げています。

⚠ 「警告」・・・お守りいただかないと重大な人身事故につながる可能性のある事項
⚠ 「注意」・・・お守りいただかないと軽傷を負うか、又は機械や設備の破損、故障につながる可能性のある事項

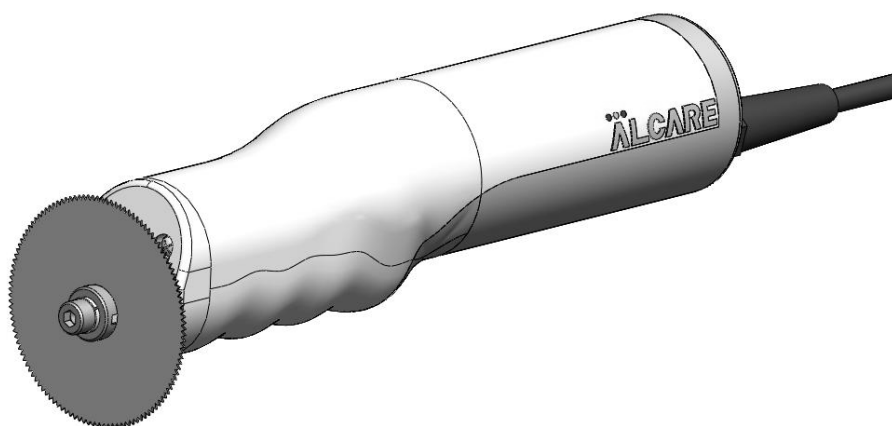
◆ 目次 ◆

第１章　使用目的と作動原理

◆　使用目的　◆

本器は、手持型の電動器具であり、その近位端は円筒形でハンドルとなっており、遠位端はギプスを形成する石膏又は合成材料を切断する刃となっています。この刃を、本器に内蔵されたモータによって振動させることでギプスの切断をすることができます。のこ引きではなく振動によって切断します。

⚠ 警　告

・ギプスの切断以外には絶対に使用しないでください。

【外観図】

◆　作動原理　◆

内蔵されているモータの回転運動を細かな振幅運動に変換し、先端の軸に伝えます。本器先端に固定されたブレードの振幅運動により、ギプスを形成する石膏又は合成材料を切断することができます。

第２章　ご使用になる前に

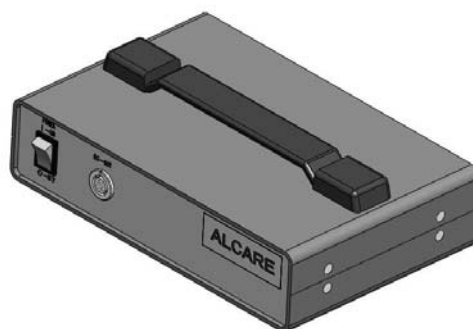
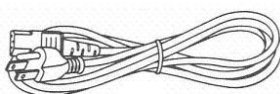
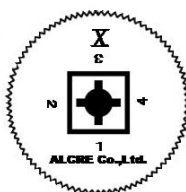
この章では、本器の操作を始める前の確認事項について記しています。
初めて本器をお使いになる方は、必ずこの章をお読みください。

◆　製品が届きましたら　◆

本器がお手元に届きましたら、外観および附属品のチェックを行い、損傷のないことを確認してください。外観および附属品の数量、あるいは使用上に不具合な点などございましたら、お買い求め先もしくは最寄りの販売元拠点（裏表紙参照）まで連絡ください。

◆　附属品　◆

本器には、図および表に示す附属品が添付されています。

①取扱説明書

②電源ボックス

③着脱電源コード

④X・カッターブレード

⑤六角レンチ

■附属品リスト

番号	品　名	数量	備　考
①	取扱説明書	1冊	本書
②	電源ボックス	1台	入力：AC100V　／　出力：DC24V
③	着脱電源コード	1本	2.0m
④	X・カッターブレード	1枚	製造販売届出番号：13B1X00207000022
⑤	六角レンチ	1本	サイズ4

◆　使用上の注意　◆

本器を正しく安全にご使用いただくため、次の事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

・製品特性や手技を十分に理解し、熟知した上で医師又は医師の監督下の医療従事者が使用してください。
・可燃性麻酔ガスや高濃度酸素環境下では、爆発の危険性があるので使用しないでください。
・のこ引きするような操作をしないでください。

⚠ 注　意

・指定の使用目的以外には使用しないでください。
・使用前に本体外観、附属品およびその接続状態を確認し、異常がある場合は使用しないでください。
・弊社指定の製品および附属品以外と併用しないでください。

■取り扱い上の注意

・本器の周辺に水や薬品の入った容器を置かないでください。万一、内部に水や薬品が入ってしまった場合は、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じてください。点検・修理が必要です。
・移動や持ち運びの際は、必ず着脱電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
・本体および附属品は、使用の前後に日常の点検および洗浄・消毒を行ってください。
・本体および附属品の汚れは、本体および附属品が常温まで冷えた後、消毒用アルコールなどで洗浄・消毒してください。ベンジン・シンナーなどは変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。
・殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。
・本器全般および患者に異常のないことを絶えず監視し、異常が発生した場合には、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じてください。

■安全にお使いいただくために

・本器の分解・改造は絶対に行わないでください。
・本器から煙が出ている、変な音や臭いがするなどの異常が発生したら、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じてください。点検・修理が必要です。
・コントロールケーブルや着脱電源コードの上に重いものを載せたり、熱器具に触れたりしないように注意してください。
・コントロールケーブルや着脱電源コードが傷んだら、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じてください。点検・修理が必要です。
・着脱電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、コードを引っぱらず、必ずプラグを持って抜いてください。

■使用前の注意

・水や薬液がかからないように使用してください。
・傾斜・振動・衝撃（運搬時を含む）などの無い、安定した場所に設置してください。
・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所で使用しないでください。
・着脱電源コードのプラグやコンセントのほこりなどを定期的に取り除いてください。
・高電圧・大電力の高周波を発生する装置の近くで本器をご使用される場合は、その装置の添付文書・取扱説明書を参照し、電磁的干渉による誤作動が起きないことを確認の上、ご使用ください。
・電源の周波数と電圧および許容電流値(または消費電力)に注意してください。
・摩耗しているブレードの刃は使用しないでください。
・ブレードは専用品を使用し、正確にかつ確実に本体に取り付けてください。
・すべての附属品の接続が正確で安全であることを確認してください。

■使用中の注意

・のこ引きするような操作は行わないでください。
・ブレードを使用して、ギプスを折り曲げたり、こじ開けたりしないでください。
・切断直後のブレードは、高温になっている場合があります。熱傷や可燃性物質への引火に十分に注意してください。
・本器は短時間作動の機器です。10 分間以上の連続使用は行わないでください。本体が高温になり故障の原因となります。使用後は十分な休止時間を取ってください。
・ブレードを人体に接触させないでください。
・ブレードは消耗品です。消耗したら、使用する箇所を変更する、新品と交換するなどの保守を行ってください。
・ギプスの切断時には粉塵が発生します。換気などに注意して使用してください。
・本器全般および患者に異常のないことを絶えず監視してください。
・本器全般および患者に異常が発見された場合には、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じてください。
・本器に患者がふれることのないように注意してください。

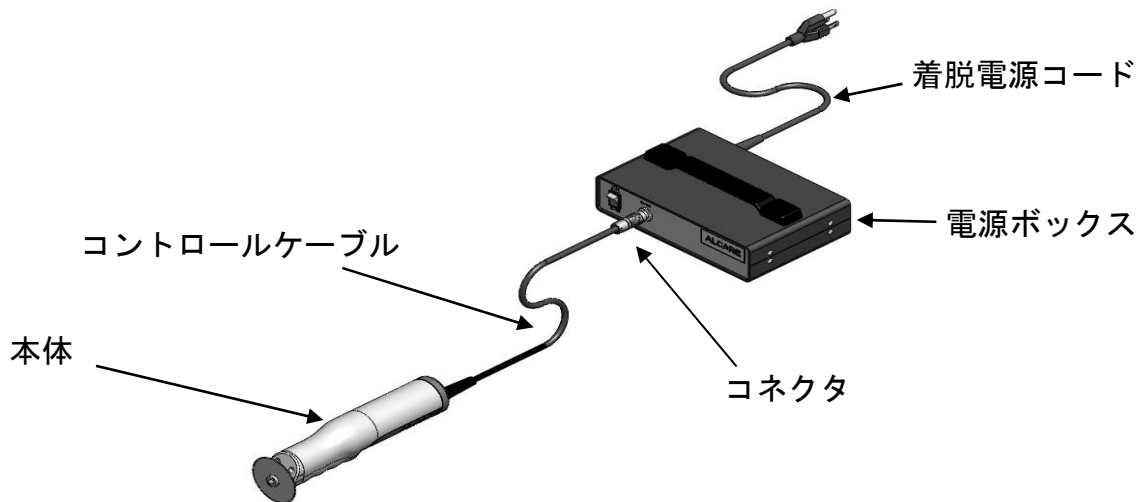
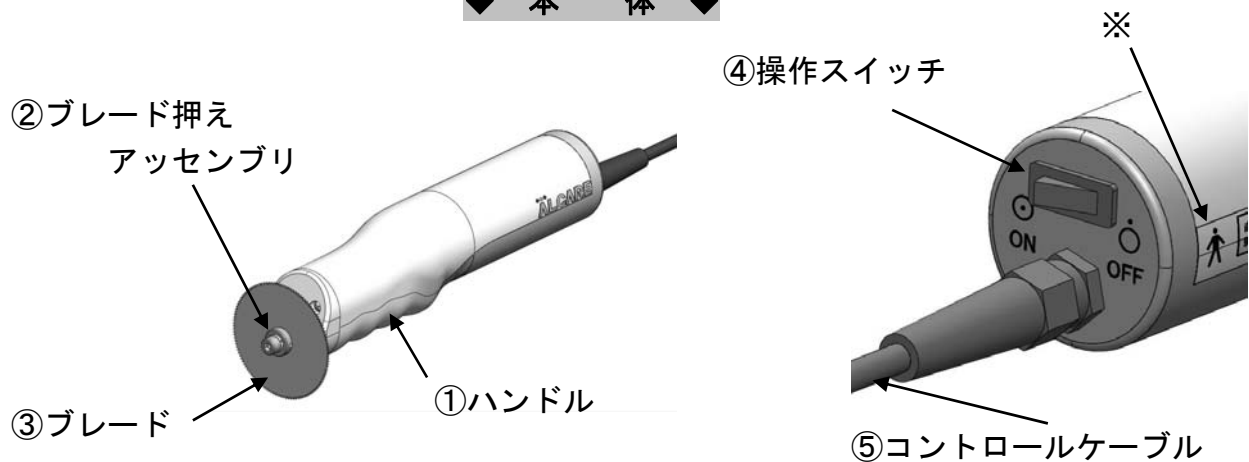
■使用後の注意

・コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなどの無理な力をかけないでください。
・本体および附属品は、次回の使用に支障のないよう、日常点検記録表を参考に点検を行ってください。
・本体および附属品は、次回の使用に支障のないよう、必ず洗浄・消毒し、整理してまとめておいてください。

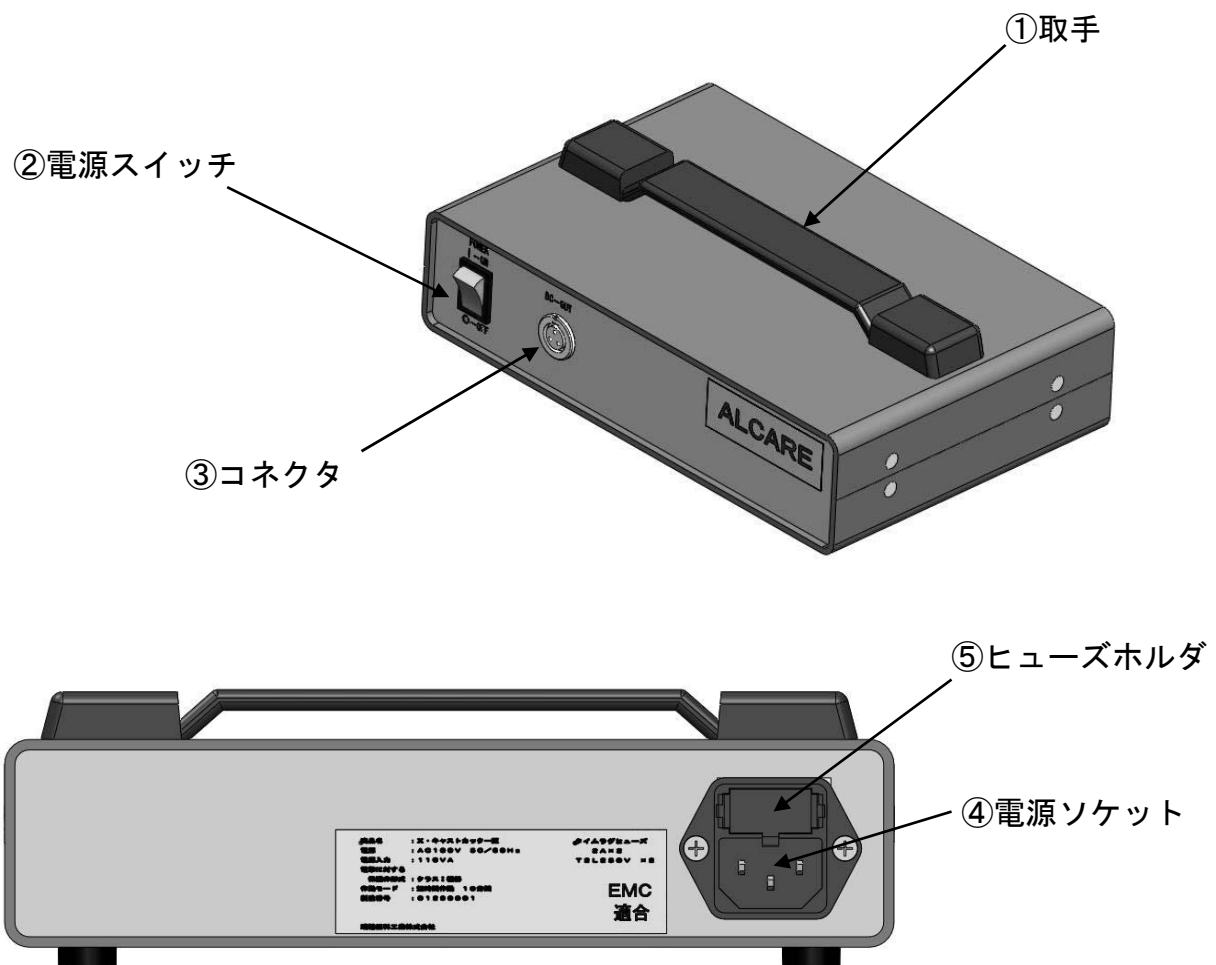
■輸送および保管について

・水などの液体がかからないようにしてください。
・温度(0℃～50℃：氷結・結露のないこと)、湿度(10%～85%)、気圧(500hPa～1060hPa)に注意して輸送および保管をしてください。
・屋内の倉庫などで保管し、直射日光・雨などを避けてください。
・多量の塩分やイオウ分を含んだ環境、および腐食性ガスの発生する場所で保管しないでください。
・輸送の際は、直射日光・雨などを避けてください。
・傾斜・振動・衝撃（運搬時を含む）などの無い、安定した場所に保管してください。

第３章　各部の名称と機能

◆　システム構成図　◆

◆　本　　体　◆

番号	名　称	機　能
①	ハンドル	持ち手。
②	ブレード押えアッセンブリ	ブレードを本体に固定する。 （ブレード押え、バネ座金、六角穴付きボルトの３点）
③	ブレード	ギプスを切断するための刃。
④	操作スイッチ	ブレード部分の動作制御（ON/OFF）を行う。
⑤	コントロールケーブル	電力の供給を行う。

※B 形装着部マーク ：装着部の電撃に対する保護の程度が、B 形であることを示す記号です。
（詳細は、JIS T 0601-1 をご参照ください。）

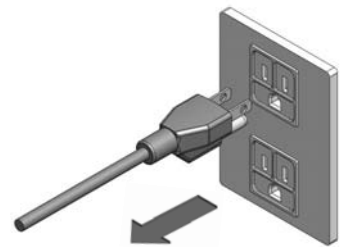
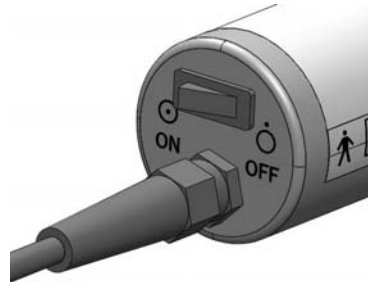
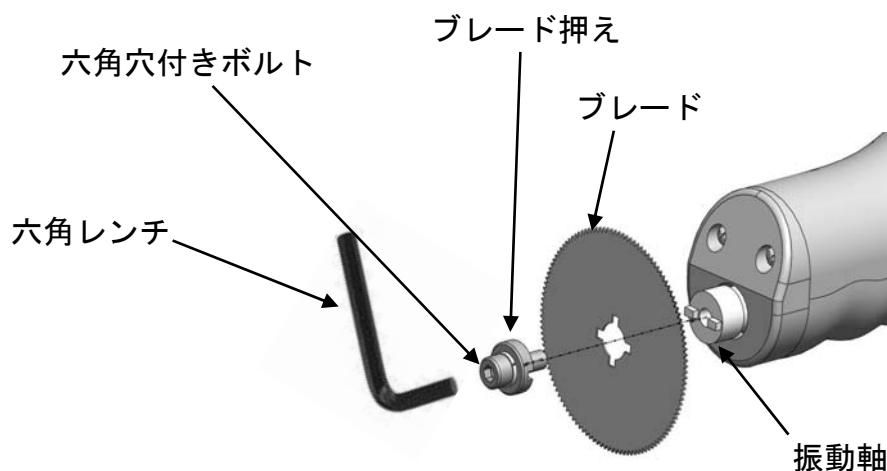
◆　電源ボックス　◆

番号	名　称	機　能
①	取手	持ち手。
②	電源スイッチ	主電源の ON/OFF を行う。
③	コネクタ	本体のコントロールケーブルと接続する。
④	電源ソケット	着脱電源コードを接続する。
⑤	ヒューズホルダ	内部にヒューズを入れ、固定する。

第４章　準備方法

この章は本器の操作を始める前の準備として、附属品の配置や接続などの準備方法を手順に沿って詳しく記しています。本章をよくお読みになり、正しく配置・接続してからご使用いただきますようお願いいたします。

◆　ブレードの固定（交換）　◆

注　意

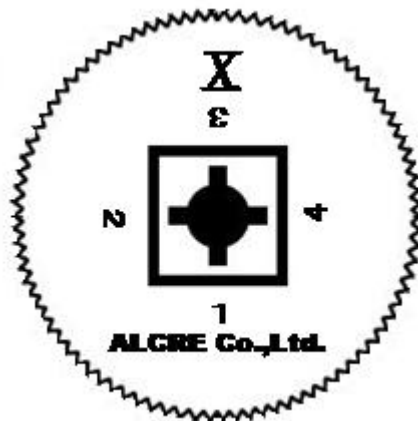
- ブレードの固定（交換）は、本体のコントロールケーブルを電源ボックスから外し、電源ボックス側の着脱電源コードのプラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ブレードの固定（交換）は、操作スイッチ、および電源スイッチがＯＦＦの状態で行ってください。
- 摩耗したブレードの刃は使用しないでください。

１．振動軸の凸部とブレードの切り欠き部の位置を合わせ取り付けます。
２．ブレード押えの凹部と振動軸の凸部の位置を合わせ、六角レンチを使って六角穴付きボルトを締め付けます。

◆　ブレードについて　◆

※ブレードをご使用の際は、必ずＸ・カッターブレード
（製造販売届出番号：13B1X00207000022）の添付文書をお読みください。

警　告

- ギプスの切断以外には絶対に使用しないでください。
- 装着部に適合する丸刃式ギプスカッタ以外には使用しないでください。
- 切断直後のブレードは高温になっている場合がありますので、触れないでください。

注　意

- ご使用になる洗浄液・消毒液の取扱説明書をお読みいただき、金属などに影響をおよぼす可能性がないか確認してください。
- ブレード表面への刻印など、二次加工は絶対に行わないでください。破損の原因となる恐れがあります。
- 洗浄の際、目の粗い磨き粉や、金属ウールなどで表面を磨かないでください。錆や腐食の原因となります。

- ブレードの材質はステンレス鋼です。ご使用になる洗浄液・消毒液の影響を確認してください。
- ブレードの摩耗した部分の刃は使用しないでください。切断能力が低下しているので、摩擦熱の増加、本器への過度の負荷などにより、熱傷や機器の損傷・劣化を招く原因となります。
- 使用前点検などで、損傷などの異常を発見したら、新品のブレードと交換してください。消耗品ですので修理できません。

第５章　操作方法

この章は本器の操作方法を手順に沿って詳しく記しています。機能を十分に活かし、本器を使いこなしていただくためにも、本章をよくお読みになり、内容を熟知してくださるようお願いいたします。

■ご使用になる前に

⚠ 注　意

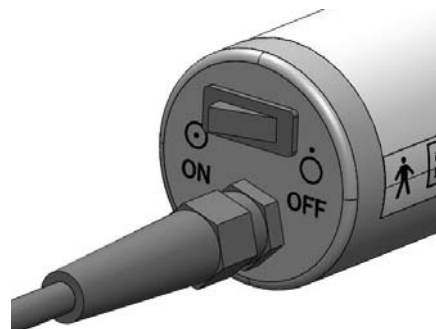
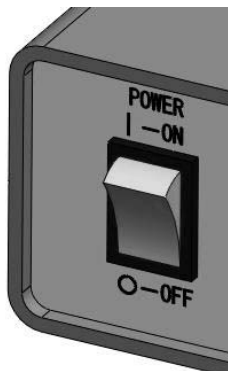
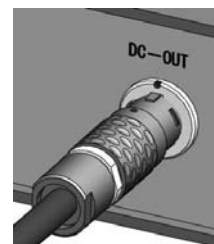
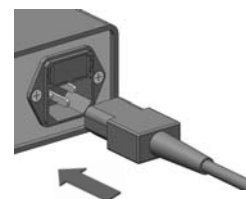
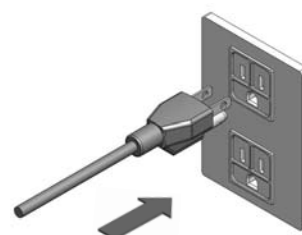
・高電圧・大電力の高周波を発生する装置の近くで本器をご使用される場合は、その装置の添付文書・取扱説明書を参照し、電磁的干渉による誤作動が起きないことを確認の上、ご使用ください。
・電源の周波数と電圧および許容電流値(または消費電力)に注意してください。
・摩耗しているブレードの刃は使用しないでください。
・ブレードは専用品を使用し、正確かつ確実に本器に取り付けてください。
・すべての附属品類の接続が正確で安全であることを確認してください。

◆　電源への接続　◆

⚠ 警　告

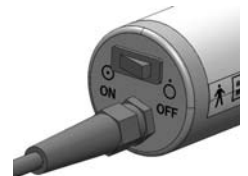
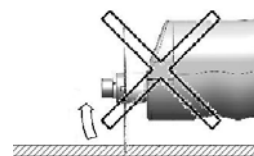
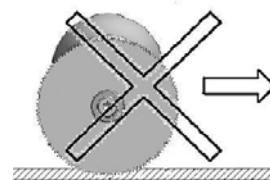
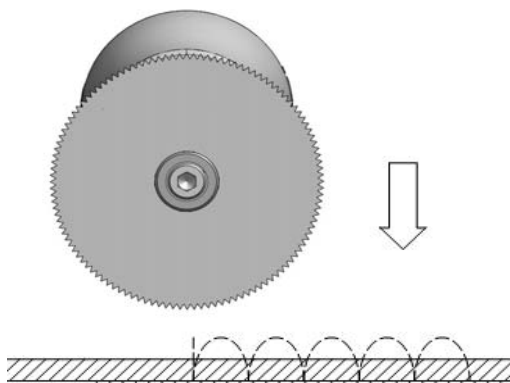
・着脱電源コードのプラグやコンセントなど、コード類の接続部のほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが溜まりますと、火災が発生する可能性があります。

⚠ 注　意

・着脱電源コードの接続は、電源ボックスの電源スイッチ、および本体の操作スイッチがＯＦＦの状態で行ってください。

１．本体のコントロールケーブルのコネクタと電源ボックスのコネクタの
　赤い印の位置を合わせ、電源ボックスに｢カチッ｣と音がする位置まで
　差し込みます。

２．着脱電源コードのコネクタを、電源ボックスの電源ソケットに接続します。

３．着脱電源コードのプラグをＡＣ１００Ｖの３Ｐコンセントに差し込みます。

◆　切断を開始する　◆

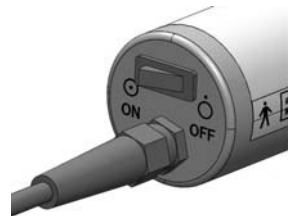
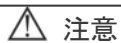
⚠ 注　意

・のこ引きするような操作は行わないでください。
・ブレードを使用して、ギプスを折り曲げたり、こじ開けたりしないでください。
・切断直後のブレードは、高温になっている場合があります。熱傷や可燃性物質への引火に十分に注意してください。
・本器は短時間作動の機器です。10 分間以上の連続運転は行わないでください。使用後は十分な休止時間を取ってください。
・ブレードを人体に接触させないでください。
・ブレードは消耗品です。消耗したら、使用する箇所を変更する、新品と交換するなどの保守を行ってください。
・ギプスの切断時には粉塵が発生します。換気などに注意して使用してください。
・本器全般および患者に異常のないことを絶えず監視してください。
・本器全般および患者に異常が発見された場合には、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じてください。
・本器に患者が触れることのないように注意してください。

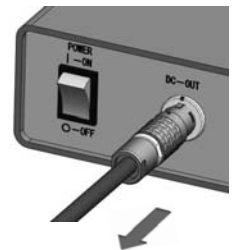
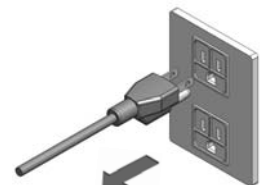
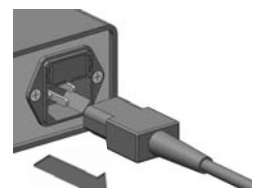
１．本体のハンドルをしっかりと握り、持ち上げます。
２．電源ボックスの電源スイッチを❙（ＯＮ）にします。
３．本体の操作スイッチを⊙（ＯＮ）にします。内部のモータが作動し、ブレードが振動します。
４．切断対象部にブレードを垂直に押し当てて切断します。
５．目的の深さまで切断したら、いったん引き抜きます。
６．４．～５．の作業を繰り返し、切断を行います。

※曲線的な切断は行わないでください。本体やブレードに過度な負荷がかかり、故障や破損の原因となります。

◆　使用を終えるとき　◆

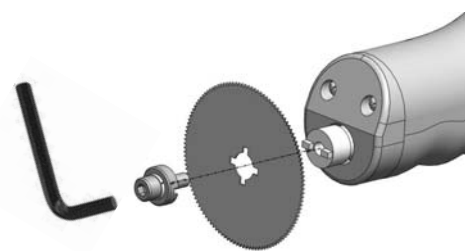
⚠ 注　意

・操作スイッチと電源スイッチをOFFにして、着脱電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
・コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなどの無理な力をかけないでください。
・本体および附属品は、次回の使用に支障のないよう、日常点検記録表を参考に点検を行ってください。
・本体および附属品は、次回の使用に支障のないよう、必ず洗浄・消毒し、整理してまとめておいてください。

１．本体の操作スイッチを ◌̇ （ＯＦＦ）にします。

２．電源ボックスの電源スイッチを○（ＯＦＦ）にします。

⚠ 注意
ＯＦＦ後数十秒間は、本体の操作スイッチをＯＮしないでください。
電源ボックス内部に電荷が残っており、ブレードが一瞬動く場合があります。

３．本体コントロールケーブルのコネクタを電源ボックスから外します。

※　このコネクタはロック機構が付いており、コネクタ本体を持って引き抜かないと外れない構造になっています。ケーブルを持って引き抜くと断線、破損の原因となりますので、決して行わないでください。

４．着脱電源コードのプラグをＡＣ１００Ｖの３Ｐコンセントから外します。

５．着脱電源コードのコネクタを電源ボックスの電源ソケットから外します。

６．常温に冷めてから、六角レンチを使用しての六角穴付きボルトを緩めて、ブレードを外します。

※　切断直後のブレードは、高温になっている場合があります。熱傷や可燃性物質への引火に十分に注意してください。

７．本体および附属品は次回の使用に支障のないように第６章保守点検の**◆日常のお手入れ◆**を参照して洗浄・消毒して、整理してまとめておいてください。

第６章　保守点検

この章では保守点検について記しています。本器を常に良好な状態でご使用いただくため必ずお読みください。

※保守点検および修理の定義
保守点検：清掃、校正、消耗部品などを交換することです。
修理　　：故障、破損、劣化などの箇所を本来の状態、機能に復帰させることです。

◆　保証および免責事項について　◆

■保証について

Ｘ・キャストカッター匠（消耗品は除く）の保証期間はお買い上げ日から１年間です。保証期間内に限り、品質および構造上の不備による故障が発生した場合は無償にて修理いたします。

■免責事項について

保証期間内であっても下記項目に該当する場合は有償とさせていただきます。

① ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
② お買い上げ後の輸送、落下、水濡れなどによる故障および損傷。
③ 火災、人災、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧による故障および損傷。
④ お客様の事情等により出張修理を行った場合の出張費用。
⑤ 保証書の所定事項未記入または提示がない場合。

◆　日常のお手入れ　◆

■洗浄・消毒

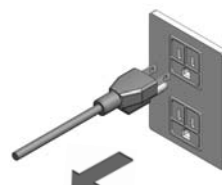
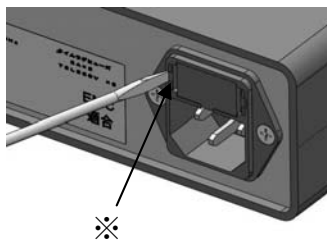
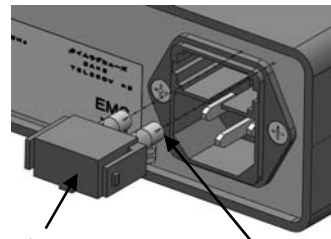
注　意

・ベンジンやシンナーなどは使用しないでください。
・ご使用になる洗浄液・消毒液の取扱説明書をお読みいただき、金属などに影響をおよぼす可能性がないか確認してください。

・本体および附属品の汚れは、消毒用アルコールなどで洗浄・消毒してください。ベンジン・シンナーなどは変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。
・ご使用になる洗浄液・消毒液の取扱説明書をお読みいただき、金属などに影響をおよぼす可能性がないか確認し、影響がある場合は使用しないでください。

■ヒューズ交換

警　告

・電源ボックスの電源スイッチを〇（ＯＦＦ）にし、着脱電源コードのプラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。

１．交換用の電子機器用タイムラグ型ガラス管ヒューズ（下記参照）を用意します。
　　寸法　　：φ5×20mm
　　定格電圧：250V
　　定格電流：2A
２．電源ボックス背面にあるヒューズホルダを、工具を使用して取り外します。
　　※矢印の部分の内側に段差があります。小型の(－)ドライバーを差し込むと容易に外れます。

３．ヒューズホルダに新しいヒューズを挿入します。
４．ヒューズホルダを奥までしっかりと押し込みます。

◆　日常点検　◆

注　意

・使用する前後に必ず日常点検を行ってください。
・異常の発見などで修理をご依頼いただくときは、不具合箇所・状況などを明示してください。
・修理をご依頼いただくときは、附属品一式も添付してください。

主に外観上の不具合や作動チェックを中心に行います。点検結果は日常点検記録表に記入し、保管してください。異常や消耗品の劣化などが見つかったときは、消耗品の交換および修理が必要です。点検・修理をご依頼いただくときは、不具合箇所・状況を明示の上、日常点検記録表のコピーを添付してください。

■本体

１．外観検査

本体に著しいキズがないか、ネジの緩みや外れがないかなどの損傷・汚れを目視で検査します。

２．作動・機能検査

ヒューズが切れていないか、電源スイッチ・操作スイッチ・モータが正常に作動するかなどを電源を投入して検査します。

※日常点検記録表はコピーしてご利用ください。
※ヒューズが切れている場合は、内部回路の損傷が考えられます。交換してもすぐに切れる場合は、点検・修理が必要です。

■附属品

１．外観検査

着脱電源コードやブレードにひびや割れがないかなどの劣化・損傷・汚れを目視で検査します。

２．電気的導通試験

回路計（テスタ）などを使用して、着脱電源コードの断線の有無を調べます。

このページをコピーしてお使いください。

X・キャストカッター匠　日常点検記録表			
医療機関名		点検年月日	
設置場所		点検者	
管理者		製造番号	No.
購入年月日		管理番号	No.

▼外観検査（本体）

点検箇所	使用可	修理	交換	備考
塗装の剥がれやキズ				
ネジの緩みや外れ				
振動軸の損傷や緩み				
コントロールケーブルのキズ、汚れ				
操作スイッチ				

▼外観検査（電源ボックス）

点検箇所	使用可	修理	交換	備考
塗装の剥がれやキズ				
ネジの緩みや外れ				
電源スイッチ				
電源ソケット				
コネクタ （コントロールケーブル接続口）				

▼作動検査

点検箇所	使用可	修理	交換	備考
操作スイッチ				
電源スイッチ				
モータ				
振動軸				

■附属品

▼外観検査

点検箇所	使用可	修理	交換	備考
着脱電源コードのキズ、汚れ				
X・カッターブレード				
六角レンチ				

※X・カッターブレードは、刃の摩耗、破損などの劣化を特に注意して確認してください。

▼電気的導通試験

点検箇所	使用可	修理	交換	備考
着脱電源コード				

コメント：

◆　定期点検　◆

⚠ 警　告

・点検方法を誤ると故障や人身事故につながる恐れがあります。
・ケースやカバーを外して行った点検などにより発生した故障・事故などの責任は負いません。
・長期間使用しなかった場合は、必ず定期点検を行ってください。

⚠ 注　意

・１年に１回程度の周期で必ず定期点検を行ってください。
・故障などで修理をご依頼いただくときは、不具合箇所・状況などを明示してください。
・修理および定期点検をご依頼いただくときは、附属品一式も添付してください。

特別な測定器などを使用して高度な作業を行います。主に次の項目の点検を行います。

１．ヒューズの点検。
２．電源入力の測定。
３．保護接地回路の抵抗値の測定。
４．低周波漏れ電流の測定。
５．耐電圧試験。

◆　お客様へのお願い　◆

■医療機器の消毒・滅菌について

保守点検・修理を依頼する前および後に、医療機器の消毒・滅菌などの処置をお願いします。
保守点検・修理に関わる人と患者への感染防止のためにご協力ください。
※　本体および附属品は消毒用アルコールなどで洗浄・消毒してください。

■医療廃棄物処理について

感染性物質が付着した医療廃棄物は、廃棄物処理法上「感染性廃棄物」といい、「特別管理廃棄物」に区分されます。「感染性廃棄物」を廃棄する場合は、適切に処分してください。

■本体および附属品の廃棄について

本体および附属品を廃棄する場合は、地域行政の指示に従い、不法投棄を行わないようお願いいたします。

■修理について

機器はその性質上、長期間のご使用・保管の間に徐々に性能が低下します。この間に検査などでは発見しにくいレベルでの劣化が進むため、特定出来た故障箇所を修理しても短期間の間に別の箇所で故障が発生する可能性があります。このような場合、内部の全面的な交換を行う必要があります。その場合、修理費用が高額となり、お買い替えをしていただく方が良い場合があります。修理には万全を期しておりますが、ご了承の程よろしくお願いいたします。

■修理・定期点検のご依頼にあたって

故障や不具合の原因が附属品に起因する場合があります。故障箇所が特定出来ている場合を除き、可能な限り本体および附属品一式を揃えた状態で修理をご依頼いただきますようお願いいたします。

◆　故障かな？と思ったら　◆

症　状	原　因	対　策
ブレードが振動軸に入らない。	振動軸の凸部が変形している。	振動軸の交換が必要です。修理を依頼してください。
電源が入らない。	着脱電源コードが電源ボックスの電源ソケットに接続されていない。	着脱電源コードを電源ボックスの電源ソケットに接続してください。
	着脱電源コードがコンセントに接続されていない。	着脱電源コードをコンセントに接続してください。
	本体のコントロールケーブルが電源ボックスに接続されていない。	本体のコントロールケーブルを電源ボックスに接続してください。
	電源のヒューズが切れている。	第６章の保守点検の◆日常のお手入れ◆を参照し、ヒューズホルダ内のヒューズを交換してください。
急に動作を停止した。	着脱電源コードが電源ボックスの電源ソケットから外れている。	着脱電源コードを電源ボックスの電源ソケットにしっかりと接続してください。
	本体のコントロールケーブルが電源ボックスのコネクタから外れている。	本体のコントロールケーブルを電源ボックスのコネクタにしっかりと接続してください。
	電源のヒューズが切れている。	第６章の◆日常のお手入れ◆を参照し、ヒューズホルダー内のヒューズを交換してください。
ブレードは作動しているが、切断できない。	ブレードが摩耗している。	使用する箇所を変更するか、新品と交換してください。
	振動軸とブレードの取付部が摩耗して、ブレードがしっかり固定されていない。	振動軸の交換が必要です。修理を依頼してください。
	ブレードを傾けて押し当てている。	ブレードを切断箇所に対して垂直に押し当ててください。
	ブレードを押し当てたあと、水平方向や曲線的に動かしている。	ブレードを切断箇所に対して垂直に押し当ててください。目的の深さまで切断したら、いったん引き抜いてください。
	ブレードが変形している。	ブレードを新品に交換してください。
モータは作動しているが、切断できない。	ブレードが振動軸に固定されていない。	第４章の準備方法の◆ブレードの固定（交換）◆を参照しブレードを確実に固定してください。

上記に記載した対処で不具合が改善されない場合、もしくは上記以外の不具合の場合には、本器の使用を中止するなど適切な措置を講じて、修理を依頼してください。

第７章　資料

この章では、基本操作の流れ・仕様・外形図について記述してあります。必要なときに参照してください。

◆　基本操作の流れ　◆

準備方法および操作方法については、必ず本書の第４章、第５章をお読みください。

１．ブレードを、ブレード押えアッセンブリ（ブレード押え、バネ座金、六角穴付きボルト）で本体先端の振動軸に固定します。固定には六角レンチを使用してください。

２．本体と電源ボックスをコントロールケーブルで接続します。

３．電源ボックスとＡＣ１００Ｖの３Ｐコンセントを着脱電源コードで接続します。

４．本体のハンドルをしっかりと握り、持ち上げてから電源ボックスの電源スイッチをON します。

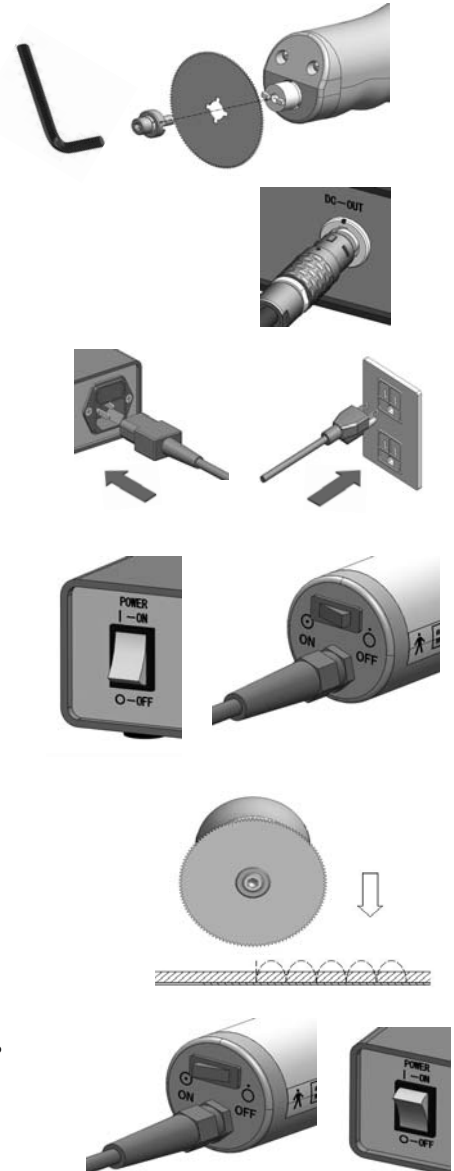
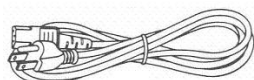
５．本体の操作スイッチをON します。

６．切断対象部にブレードを垂直に押し当てて切断します。

７．目的の深さまで切断したら、いったん引き抜きます。

８．６．～７．の作業を繰り返し、切断を行います。

９．使用を終えるときは、操作スイッチと電源スイッチをOFF にします。
　※摩擦によるブレードの温度上昇に注意してください。

10．次回の使用に備えて日常点検を行った後、本体および附属品類の洗浄・消毒をして保管します。
　※消毒は、本体および附属品が常温まで冷えた後、消毒用アルコールなどで拭き上げてください。

電源ボックス

着脱電源コード

Ｘ・カッターブレード

六角レンチ

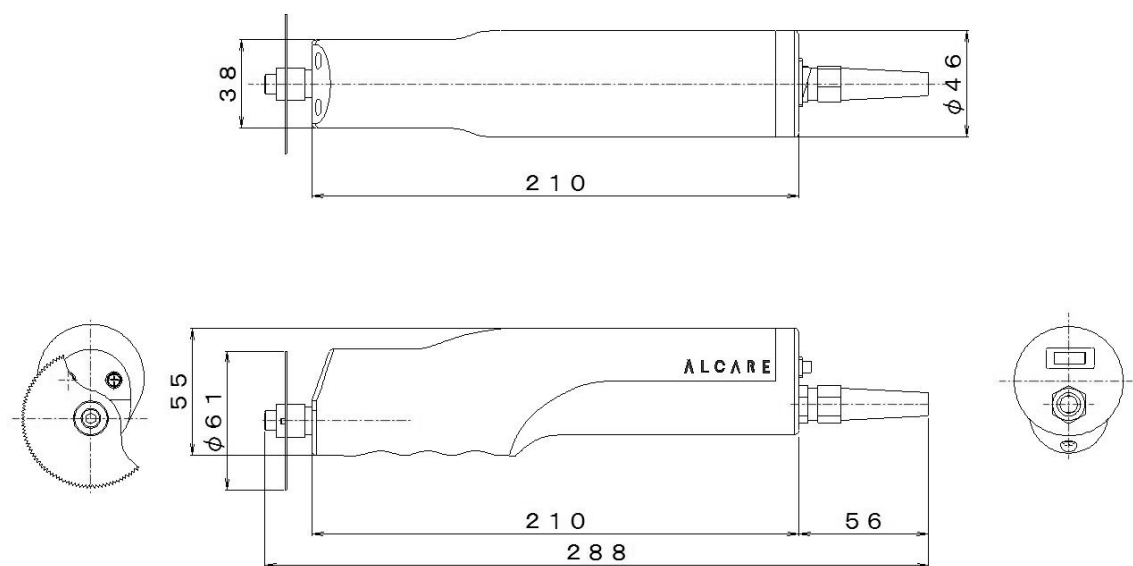
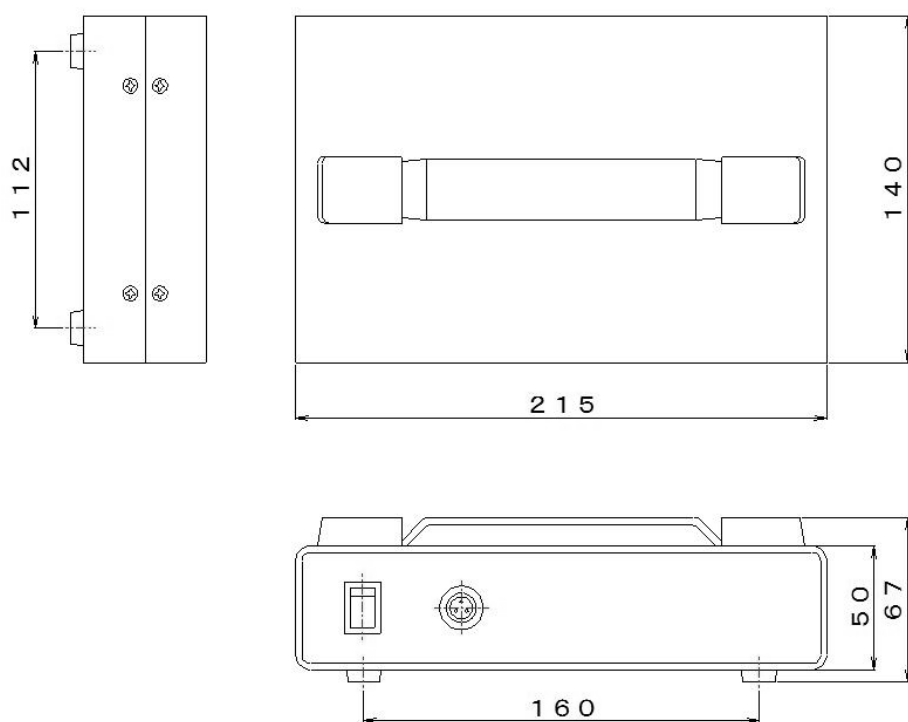
◆　仕様　◆

項　目	仕　様
販売名	Ｘ・キャストカッター匠　（製造販売届出番号：13B1X00306E10012）
商品コードNO.	18841
JANコード	4900070188416
類別	機械器具　40　医療用のこぎり
医療機器のクラス分類	一般医療機器
一般的名称	電動式ギプスカッタ
JMDNコード	16340000
作動環境	周囲温度　10～40℃ 相対湿度　30～75% 気　　圧　700～1060 hPa
輸送および保管環境	周囲温度　 0～50℃　（ただし、氷結・結露のないこと） 相対湿度　10～85% 気　　圧　500～1060 hPa
電源	AC100V　50/60 Hz
電源入力	130VA
電撃に対する保護	クラスⅠ　B形装着部
ヒューズ	タイムラグ型ガラス管ヒューズ 2A 250V ／ 外形：φ5×20mm
作動モード	短時間作動　10分
振動サイクル	16000サイクル / 分 ±15%（無負荷時）
電源コード	着脱式　2m
外形寸法	次頁参照
質量	本体（ケーブル無）：約1kg、本体（ケーブル含む）：約1.2kg 電源ボックス：約1.1kg
附属品	取扱説明書　：1冊 電源ボックス　：1台 着脱電源コード　：1本 Ｘ・カッターブレード　：1枚 （製造販売届出番号：13B1X00207000022） 六角レンチ　サイズ4　：1本

◆　外形図　◆

[mm]

【本体】

[mm]

【電源ボックス】

X・キャストカッター匠
取扱説明書

⚠ 注　意

・事前に添付文書および取扱説明書などをよくお読みいただき、内容を正しく理解された上でご使用ください。
・定期点検および術前・術後の日常点検を行ってください。
・修理や定期点検などのアフターサービスに関しては、お買い求め先もしくは最寄りの販売元拠点までお問い合わせください。

■販売元

アルケア株式会社
【　本　　社　】
〒130-0013　東京都墨田区錦糸１－２－１アルカセントラル19階
お客様相談室：フリーダイヤル　0120-770175
【　営業拠点　】

●東京営業所	TEL 03-5638-8161	●首都圏東営業所	TEL 048-834-5614
●首都圏西営業所	TEL 045-472-7511	●札幌営業所	TEL 011-261-1721
●仙台営業所	TEL 022-715-2733	●名古屋営業所	TEL 052-222-3860
●北陸営業所	TEL 076-243-5602	●大阪営業所	TEL 06-6337-2985
●広島営業所	TEL 082-831-8777	●福岡営業所	TEL 092-441-8372

■製造販売元

瑞穂医科工業株式会社
【　本　社　】
〒130-0033　東京都文京区本郷３－３０－１３

※掲載の仕様は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承のほどお願い申し上げます。
※掲載の写真、およびイラストはすべてイメージによるもので、実際と異なる場合があります。

保証書

製造No.	本製品は、厳密な検査を経て出荷されておりますが、万一、使用中に製造上の不備による故障が発生した場合は、下記保証規定に基づき無償修理いたします。故障が発生した場合は、本保証書をお買い上げの販売店にご提示の上、製品の修理を依頼してください。
保証期間 お買い上げ日から1年（ただし、消耗品は除く）	
お買い上げ日 ★　年　月　日	
ご住所 □□□－□□□□　電話（　　）　－	お買い上げ店 店名・住所・電話番号
お名前 様	

★印欄に記入のない場合は無効とさせていただきます。必ず記入の有無をご確認ください。万一、記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

1. X・キャストカッター匠（消耗品は除く）の保証期間はお買い上げ日から1年間です。保証期間内に限り、品質および構造上の不備による故障が発生した場合は無償にて修理いたします。
2. 保証期間内であっても下記項目に該当する場合は有償とさせて頂きます。
（1）ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
（2）お買い上げ後の輸送、落下、水濡れなどによる故障および損傷。
（3）火災、人災、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧による故障および損傷。
（4）お客様の事情等により出張修理を行った場合の出張費用。
（5）保証書の所定事項未記入または提示がない場合。

アルケア株式会社
〒130-0013　東京都墨田区錦糸１－２－１
アルカセントラル19階
お客様相談室：0120-770175